

第4回津島市巡回バス検討委員会 会議結果

1 開催日時

令和7年12月24日（水） 午前10時から午前11時まで

2 開催場所

津島市役所3階 市長公室

3 出席者

別紙「第4回津島市巡回バス検討委員会出席者名簿」のとおり

4 議事

- (1) ふれあいバスのルートの見直し案
- (2) ふれあいバスのダイヤの見直し案

5 会議資料

- ・資料1-1 停留所等の変更内容
- ・資料1-2 停留所等の変更内容（新旧）※写真付き資料
- ・資料1-3 Aコース ルート図（案）
- ・資料1-4 Bコース ルート図（案）
- ・資料1-5 Cコース ルート図（案）
- ・資料1-6 Dコース ルート図（案）
- ・資料2-1 ダイヤ改正について
- ・資料2-2 Aコース ダイヤ（案）
- ・資料2-3 Bコース ダイヤ（案）
- ・資料2-4 Cコース ダイヤ（案）
- ・資料2-5 Dコース ダイヤ（案）
- ・資料2-6 バス利用イメージ（ヨシヅヤ本店）

6 あいさつ

(1)会長

- ・大変お忙しい中お集まりいただき、お礼申し上げる。
- ・ふれあいバスの見直しの検討を進めてきて、だんだん大詰めになってきた。
- ・委員の中には、このバス停はもう少しこっちの方にあった方がいいとか、いろいろな思いもあると思う。ただ、事務局が、交通事情や規制等も含めていろいろ検討して、ここにあるといいけども、ここには設置できないということもあったと思う。いずれにせよ、こうした積み重ねによって、まとまってきたと思う。
- ・今日もいろいろな議題があるので、皆様には、忌憚のない意見を出していただいて、最終案を持っていきたいと思うので、よろしくお願いしたい。

(2) 磯部教授

- ・ふれあいバスが何のためにあるのかは、常に考えていかなくてはいけない。
- ・通常の路線バスは、いろんな目的を持った人を運ぶため、バス会社が運営していくが、ふれあいバスは、誰の何のために動くのか、そういうことを意識しながらやっていただきたい。

7 議題

- (1) ふれあいバスのルートの見直し案
- (2) ふれあいバスのダイヤの見直し案

【事務局】

《資料 1-1 ~ 1-6、資料 2-1 ~ 2-6 をもとに説明》

【委員】

- ・東愛宕町から、いろんな声が出ているので、東愛宕町に停留所ができるよかつたと思う。具体的に、どのコースでどう入るのか。

【事務局】

- ・資料 1-4 をご覧いただきたい。
- ・東愛宕町は、B コースでの案内になる。元々、永宝団地や神島田方面を回る B コースの中に、少し本線から外れて回る形で設定させていただいた。
- ・例えば、津島駅より西側の地域にお住まいの方がカネスエに行きたい場合、津島駅で B コースに乗り換えていただく必要がある。
- ・コースの設定上、東愛宕町に行けるのがこのコースしかなかったため、B コースに東愛宕町停留所を設置した。

【会長】

- ・右回りも左回りも同じように入っていって出てくる形か。

【事務局】

- ・その通りである。資料 1-4 の次のページに具体的な回り方を乗せている。おっしゃるように、両回りとも、同じようにぐるっと回るイメージである。

【会長】

- ・津島駅で乗り換えれば、ふれあいバスを使って、カネスエに行けるのでいいと思う。B コースの方はそのまま乗り換えなく行ける。

【事務局】

- ・バス停から少し西側に行ったところにカネスエが徒歩圏内にあるので、使いやすいと思う。

【会長】

- ・歩いて何分くらいか。

【事務局】

- ・2～3分ぐらいだと思う。

【委員】

- ・資料をいただいて、家で見ていてはわからなかつたが、今日説明を受けて、なるほどとわかつて、皆の声をここにあげて本当によかつたというのが、まず今日わかつた。ここまでやるのに、本当に大変な時間を注いでやってくださり、本当にお礼申し上げる。
- ・Bコースだけ両回りをやっていたので、Cコースだと、牛田町の人は手押し車を2台くらい乗せてヨシヅヤで買い物して、そのまま帰るのにぐるっと回っていたが、今度逆回りになったことで、便利になったことを感じられると思う。ヨシヅヤは、火曜日が特売日のため、Cコースは朝満員になっている。
- ・今日、ふれあいバスに乗つたら、雨だったので5人ぐらいしか乗つていなかつたが、市民病院に行く方と、ヨシヅヤに行く方がいて、お買い物だなというのが何となく見えてきた。
- ・その中で、今日ちょっと気が付いたことがある。
- ・いつも、100円の運賃しか表示されないので、今日何となく見ていたら、おつりは出ません、パパママ出かけましょう、「次止まります」っていう赤い停留所マークが出たりして、だいぶ親切になつたと感じた。
- ・少しずつ前に進んでいるから、こういう検討委員会も大事だということがわかつた。
- ・津島市でバスを走るようになって20年になる。ちょうどいい機会で見直されて、右回り左回りができるから、時間の調整もできるのがちょっと見えてきて、うれしく思う。

【事務局】

- ・今、ご意見の中でもあつたが、両回りになるので、今度新しく時刻表を作るとき、両回りをどういうふうに地図上で表現するか、細かい時刻をどう表現して冊子にするか、いかにわかりやすく作るかが1つ課題としてある。
- ・今までの時刻表サイズではもう表現できない分量になつてしまつ。そういうところも考えていかないといけない。
- ・次回の検討委員会までに、こういった冊子にすると市民にわかりやすいなど、そういうご意見やお気づきのこと、アイディアがあれば、事務局で悩んでいる部分なので、お聞かせいただきたい。

【委員】

- ・市民の方は、右回り左回りになるとはまだ思っていないので、まずそこを一番に気づいていただきたいと思う。

【委員】

- ・実際に使うことを考えると、時刻表と行き先表示の色などを、右回り、左回りそれぞれで統一して、わかりやすくしてもらうと、乗り間違いは少ないと思う。
- ・実際に、同じバス停でバスを待っていると、どっち回りなのかがその場でわかりにくいと思う。

【事務局】

- ・今回、兼用のバス停もあるので、そこがまたややこしい。本来であれば、左回りのバス停はこっち、右回りのバス停はこっち、とはっきり分かれればいいが、どうしても交通事情の関係で兼用にしているバス停があるので、いかにそこで乗り間違いを減らすか、わかりやすくするかが1つ課題だと考えている。

【委員】

- ・パソコンやスマホで、名鉄電車のように、どうやっていったらよいかが出てくる時代が来るのか。

【事務局】

- ・バスロケーションシステムといって、今バスがどこを走っているか、地図上でリアルタイムに動いてわかるものがある。今回の見直しで、どうしても複雑になるので、紙だけではわかりにくいところもある。また、若い方に使っていただきたいというところもあるので、まだ確定ではないが、そういったものを導入できいか検討している。
- ・バス停の位置も、地図で明示されるようになる。バス停の位置がよくわからぬという問い合わせもあるので、デジタルで、そういったところがわかりやすくならないか、調査研究している。

【会長】

- ・同じバス停の名前でも、違うところにあったり、同じところにあると思ってずっと待っていたけどどちらも来なくて、気が付いたら行っちゃっていたり、そういうことも起きてしまうと思った。

【事務局】

- ・今、ヨシヅヤ本店は両回りのバス停がそれぞれ設置されているが、電話で、どちらのバス停に行けばいいかという問い合わせが結構ある。場所を説明するの

も、表現が難しいところがあるので、その辺をいかにわかりやすくするかも課題と考えている。

【会長】

- ・先ほど委員がおっしゃったみたいに、色分けは、統一されていいと思う。

【委員】

- ・南小学校区の、先ほどの東愛宕町周辺地域は、カネスエなどいろんなものができたおかげで、商業地区に変わりつつあり、渋滞するとか、一気に車の流れが変わった。
- ・また、東愛宕町の辺りは、若い人たちの高齢化の問題が一気に出てきた。要するに、高齢者ばかりになった。南小学校区を支えてくれる元気な人は東愛宕町にいるイメージだったが、一気に、手を引いてほしい、何してほしいという意見が出てくるようになった。また、町内では、外国人も一気に増え出した。
- ・こういうことを考えると、何年かで状況が変わると覚悟していかないといけない。見直したのに、またすぐ状況が変わったということが起こると思う。

【事務局】

- ・こうやって劇的に変化が起きるので、どういうふうに人が乗ってくるのか、どのような利用率があるか、数年様子を見て、またそこで改めてどうするか検討するのも1つだと考えている。
- ・今おっしゃったように、いろんな変化が今後起きてくる。今回見直したから10年間ずっとそのままということではなく、1~2年ぐらい、どういうふうに利用されるのかを確認した上で、改めてまたそこからもう一段階変化させる。変えっぱなしではなく、また変化させていくことは1つありかなと考えている。

【委員】

- ・年に1~2回は検討委員会を開催して検討するのも大事だと思う。

【事務局】

- ・多分いろんな課題も出てくると思う。両回りにすることで、乗りにくい、わかりにくいというご意見がいっぱい出てくるかもしれないし、やってみたはいいけども、あまり乗る人数は変わらないかもしれない。財政的な厳しさもあるので、そういうところを踏まえて、将来的にどうしていくかは、継続的に検討していく必要があると思っている。

【委員】

- ・5年サイクルでどうか。10年があつという間だから、5年サイクルはもっと早い。

【委員】

- ・車を運転していると、自転車に乗っている外国人や歩いている外国人を意外と多く見かける。そういった方が1人でもバスに乗ることによって、交通安全の視点から見てもいいのではないかと思う。そういった、外国人の利用度などもこれからの1つの視点になると思う。

【事務局】

- ・外国人でバスを利用される方を見ることはあるか。

【名鉄バス】

- ・まだあまり見かけない。

【事務局】

- ・外国語のパンフレットも作っていないので、周知もなかなか外国人まで届いていないと思う。

【委員】

- ・バスもそうだが、生活面、ごみの出し方もバラバラで、ポルトガル語や中国語などいろいろな言語の分別表をやっと作って周知するようになるのに、10年かかっている。今は「さんあ～る」というアプリを入れて、それでやってもらうと、外国人もきちんとできている。それを教えてあげると何となくできている。

【事務局】

- ・外国人対応、外国人にバスの案内をしていくことも検討していかないといけないと思う。

【委員】

- ・実証実験のパンフレットに、デジタルチケットの購入方法というのがあるが、二次元コードを読み込むと、チケットが買える専用フォームに繋がるのか。

【事務局】

- ・おっしゃるとおり、二次元コードを読み込むと、名鉄が提供しているサイトに繋がり、そこで購入手続きができるようになっている。ただ、あくまでも、通勤・通学対応実証実験に限ってのデジタルチケット、実証実験の時間帯にしか使えないチケットで、通常のバスでは使えない。将来的には、こういったものを、通常のふれあいバスでも適用するかどうかの1つの指針にしたいという意味でも実証実験をやっている。
- ・今回の実証実験に高校生が多く乗っていたら、定期券、学生割引の定期券を作っていく必要があるのかも、実証実験の中で確認していきたい。年明けの実証

実験は、津島東高校生が使える時間帯になるので、そういういたところも1つ確認できればと考えている。

【アドバイザー磯部教授】

- ・先ほど、乗り間違いがあるのではないかという話があった。バス停を増やすので、バス停にどういう情報を載せるか、情報提供が大事である。細かい情報だとわからないので、本当にシンプルで大事な情報だけをしっかりと載せるのが大事だと思う。
- ・色で区別する話があったが、実は、ふれあいバスの時刻表は、かなり色を工夫している。美術大学で検討されて、本当の赤じやない赤、本当の緑じやない緑を使っている。そうすると、色覚に特徴がある方、緑色がわからない方でも区別がつく。これはとてもいい話だと思う。新しい時刻表を作成する際は、色使いを美術大学と相談してやるといいと思う。
- ・情報提供といったときに、バスのいろんな時刻表をコンピューターの中に入れ込んで情報提供していくことが進んでいる。お金はかかるが、ぜひそういうところに一緒に参加して、やっていただけるとよい。いわゆる経路検索システムでは、電車だけでなく、バスも表示できる。そうすると、名古屋から津島市役所に行こうと思ったら、駅から歩いて何分ではなくて、バスのダイヤが出てくる。そういういた情報整備をやるといい。
- ・今回、ヨシヅヤをモデルとして、使い方の説明があったが、他の施設もあるといいと思う。これは、どっちかというと、市役所が作るよりも、皆さんで考えもらって、この施設行くなら、こういう使い方があるといったものを事例集みたいに積み重ねていくと、使いやすくなると思う。

8 その他

【事務局】

- ・検討委員会の議事録は、委員名簿を含め、津島市公式ホームページに掲載して公表する予定のため、ご承知おきいただきたい。
- ・次回の開催日時は現在調整中だが、3月末頃に開催を予定している。改めて、ご案内させていただくが、ご出席をお願いしたい。